

目黒区

みどりの基本計画



平成 28 (2016) 年 3 月

目 黒 区

目黒区緑化都市宣言

みどりのまちをつくるちかい

思い出してほしい

わたしたちがみどりの中に 生まれ

育つたことを

青い空 木々のこもれ日 季節のささやき
よびかけてる 誰もみな みどりの仲間だと

忘れないでほしい

木も草も 虫も鳥たちもともに暮らす

大切な家族

だから今 かけがえのない 母なる地球を
みんなで分けあつていこう

さあ 始めよう

ひと粒の小さな種をまくことから

大地に根をはり

すくすく枝をのばし

鳥たちがうたい

人びとがやすらぐ

一本の木の種

わたしたちの手で わたしたちの心に

こどもたちに伝える

森をつくろう

(平成2年10月28日、目黒区告示第285号)

目黒区みどりの基本計画の改定にあたって

私たちのまちは、都心に近く、「みどり豊かで文化的なまち」、「おしゃれなまち」というイメージが定着しています。このように、みどりは、まちのイメージを創るとともに、環境を保全し、人々の心を和ませ、安らぎを与えてくれます。

まちのみどりを守り、育て、質の高いみどりを創っていくことで、私たちの暮らしは豊かになり、まちの魅力が増してまいります。

空から地上を見たときに、みどりで覆われている面積の割合を「緑被率」といいます。平成26年度に実施した「みどりの実態調査」では、「緑被率」が17.3%となり、平成16年度に実施した前回調査時に比べ、0.2%の増加が見られました。公園や緑道等の木が大きく成長する一方で、住宅地や社寺等の私有地に残されていたみどりが減少しています。

みどり豊かなまちづくりは、行政だけで実現できるものではありません。区民・事業者・学校等さまざまな主体が連携し、身近な場所でみどりと関わっていくことが大切です。

一鉢のみどりを育てる、一本の木を植えるなど、一人ひとりの取り組みが、やがて大きなみどりとなり、まち全体にうるおいと安らぎのある、みどり豊かな環境をひろげることができます。

そのような思いを込めて、この計画の基本理念に「みどりを感じる・みどりと暮らす・みどりに集う～みんなが主役のみどりのまちづくり～」を掲げました。

私たちの暮らしにみどりを取り入れ、一人ひとりが主役となるみどりのまちづくりを進めていきましょう。そして、「ともにつくる みどり豊かな 人間のまち」を次の世代に引き継いでいきましょう。

最後になりますが、計画改定にあたりましては、学識経験者や関係団体等で構成する「目黒区みどりの基本計画懇話会」を設置しました。この懇話会では、みどりに関わる多様な分野からご意見をいただくとともに、活発に議論がされました。改めて、計画改定の取り組みにご尽力をいただいた懇話会委員の皆様や貴重なご意見をお寄せいただきました区民の皆様のご協力に対し、心から感謝申し上げます。

平成28年3月

目黒区長

目 次

第1章 計画の基本的事項	1
1 計画改定の趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画期間	2
4 みどりを取り巻く社会情勢	3
5 みどりの定義と役割	6
6 計画の実現に向けた各主体の取組	7
第2章 目黒区のみどりの現状と課題	8
1 区の概況	8
2 みどりの現状	11
3 これまでの施策の取組状況	18
4 みどり・公園に対する区民意向等	21
5 みどりの役割から見た現状	24
6 課題のまとめ	30
第3章 基本理念と目標	36
1 基本理念	36
2 基本方針	38
3 計画のフレームと目標	41
4 みどりのネットワーク形成方針	43
5 公園等の整備・再編方針	52
第4章 施策の方向性	56
1 施策の体系	56
2 施策の内容	57
第5章 重点的取組	71
第6章 進行管理	75
資 料	78
1 計画改定の経緯	78
2 目黒区みどりの基本計画懇話会	79
3 目黒区みどりの基本計画 施策体系新旧比較表	80
4 用語解説	81